

東アジア文化都市2022大分県「パラアートOITA」について

1 目的

大分県、温州市、済南市、慶州市の各開催都市から、障がいのある方が制作したアート作品を一堂に集め展示するほか、県内の出展作家によるワークショップや公開制作等を通じ、表現者の力と県民の文化に対する情熱を高めるとともに、域内の相互理解を深める。

2 日時・場所

開幕式典 10月3日(月) 10:30~11:30
一般公開 10月3日(月)~30日(日) 大分県立美術館1Fアトリウム
期間中は展示のほか、県内出展作家によるワークショップ・公開制作を実施
・ワークショップ/中野マーク周作(10月15日(土)粘土細工)
・公開制作 /古城 貴博(10月29日(土)ペン画) など

3 展示作品

(1) 作品数

各開催都市から10作品 計40作品

(2) 作品の見どころ

- 【中韓】日本チャリティ協会 の協力のもと、中韓両国の公的機関が自国の誇る歴史と文化の象徴と高く評価する作品を選出。今回は、東洋美術の代表的分野である「書画」が最も多く、各国の生活文化を表す「漢字」や「ハングル」の文字を使い、墨や岩絵具、顔彩により鮮やかな色彩で表現された作品が並ぶ。
- 【県内】県内外の障がい者アートに係る企画展や公募展への出展歴がある作品の中から、特に優れた作品を選出。絵画、切り絵や陶芸などバラエティに富み、障がい者アートならではの独創的な世界観が表現された作品が並ぶ。

() 公益財団法人日本チャリティ協会 / 会長 八代英太(元郵政大臣)

1966年の創立以来、福祉文化の育成振興を理念として障がい者・高齢者向けに多彩な事業を展開。特に、障がい者の芸術文化活動の推進に向けて実施している「東京都障害者総合美術展(1986~)」や「パラアート TOKYO 国際交流展(2009~)」が代表的な事業である。